

# 公開講座

## 「小説『劔岳・点の記』をもう一度」

### — それからの柴崎測量官 —

『劔岳<点の記>』(新田次郎作)は、明治末期に参謀本部陸地測量部の若き測量手柴崎芳太郎らの測量隊が、五万分一地形図の空白地帯で、当時前人未踏の信仰対象の山であった北アルプス劔岳への山岳測量プロジェクトを題材にした山岳小説である。これ以降、新田次郎は山岳小説を書いていない。新田山岳文学の集大成にあたる作品でもある。

この小説では、柴崎測量隊による劔岳山頂での測量作業の終結とともに、その内容も終焉している。柴崎測量官の人生の折り返し時期にあたり、後半生の30年間があり、「それからの柴崎測量官」の人生があった。しかし、その期間の記録は陸地測量部の機関誌などに断片的な記録のみしかない。

今回、「小説『劔岳・点の記』をもう一度」では、柴崎測量官の後半生を断片的に残る資料(史)料から推測してみたい。小説には描かれていない「それからの柴崎測量官」を知ることによって、なお一層、この小説への愛着や親近感が高まるのではないか。

小説『劔岳<点の記>』は事実に基づいた作家の創作であり、フィクションではあるが、その中には、過去の測量の原風景や明治という時代に生きた測量人の信念を改めて知ることになり、時空を超えて私たちに感動を与えてくれる。

明治150年という記念の年を迎え、新田次郎最後の山岳文学を今再び鑑賞する良い機会としたい。

■ 日時 平成30年7月9日(月) 16:00～17:30 16時より

※講演は、16:00～17:00

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)

■ 講師 瀬戸島政博 氏

公益社団法人 日本測量協会 専務理事

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員40名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 6月25日(月)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: [open-ic@jsurvey.jp](mailto:open-ic@jsurvey.jp)

Tel: 03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)